

JENESYS2015 韓国高校生訪問団第4団

1. プログラム概要

「JENESYS2015」の一環として、「日本の魅力発見」をテーマに、韓国全土から選抜された韓国の高校生ら50名が、沖縄県の学校訪問のほか、ホームステイ（沖縄県南城市周辺）や機関訪問等を通し、日本に対する理解を深めるとともに、滞在中、帰国後とSNS等を通して日本の魅力を発信しました（12月10日～16日）。

2. 日程

- 12/10（木） 到着（成田国際空港）、オリエンテーション
- 12/11（金） 【講義】沖縄県について知ろう～歴史、自然、文化、地域の魅力や観光、歓迎昼食会、
【視察】深川江戸資料館、沖縄県那覇市へ移動
- 12/12（土） 【視察】首里城跡、沖縄県営平和祈念公園、沖縄県平和祈念資料館、南城市へ移動
【交流】ホームステイ
- 12/13（日） 那覇市へ移動
【交流】沖縄県高校生との交流会
- 12/14（月） 【学校交流】沖縄県立陽明高等学校（授業体験、交流会）
【視察】ショッピングモール
- 12/15（火） 【文化体験】黒糖作り（黒糖工場見学）、エイサー、サンゴを使った工芸体験
【視察】残波岬
成果報告会
- 12/16（水） 帰国（那覇空港）

3. JENESYS2015 韓国高校生訪問団第4団 プログラム記録写真
 韓国 テーマ：日本の魅力発見 訪問団の記録

	
<p>12月11日 講義・沖縄県の魅力について (東京都墨田区)</p>	<p>12月11日 深川江戸資料館見学 (江東区)</p>
<p>12월 11일 특강 오키나와현의 매력에 대해서(도쿄도 수미다구)</p>	<p>12월 11일 후카가와 에도자료관 견학 (고토구)</p>
	
<p>12月12日 沖縄県平和祈念公園見学 (沖縄県糸満市)</p>	<p>12月12日 ホームステイ対面式 (沖縄県南城市)</p>
<p>12월 12일 오키나와현 평화기념공원 견학 (오키나와현 이토만시)</p>	<p>12월 12일 홈스테이 대면식 (오키나와현 난조시)</p>
	
<p>12月13日 沖縄県の高校生との交流会 (沖縄県那覇市)</p>	<p>12月14日 沖縄県立陽明高等学校訪問 (沖縄県浦添市)</p>
<p>12월 13일 오키나와현 고교생과의 교류회 (오키나와현 나하시)</p>	<p>12월 14일 오키나와현립 요우메이 고등학교 방문(오키나와현 우라소에시)</p>

	
<p>12月15日 黒糖作り体験 (沖縄県読谷村)</p>	<p>12月15日 エイサー体験 (沖縄県読谷村)</p>
<p>12월 15일 흑설탕 만들기 체험 (오кина와현 요미탄촌)</p>	<p>12월 15일 에이사 체험 (오кина와현 요미탄촌)</p>

4. 参加者の感想

◆ 韓国 高校生

このプログラムがなかったら、こんなに日本の友だちをつくることも、そして直接、日本の伝統楽器の三線を演奏したり、空手をしたりすることもなかったです。日本という国をこんなに直に感じることのできる機会というのは、私にとって一生ないことだと思います。生涯の夢を、願いを叶えてくださいました。

◆ 韓国 高校生

総合的にとても有意義なプログラムでした。韓国の生徒が日本について深く考える機会となりました。訪問校の生徒らが韓国生徒に対して持っていた先入観がかなり解消されたと思います。このようなプログラムがもう少したくさん行われれば韓日関係を心配する必要がなくなると思います。

◆ 韓国 高校生

3日目のホームステイ対面式から印象が180度変わりました。日本に来て観光するのは容易いことですが、日本人と直接交流する経験を誰しも与えられるものではありません。その機会を私は与えられ、良い縁を結んでもらいました。わずか1日程だけでしたが、お会いしたおばあさんと私たちは本当のおばあさんと孫のように仲良くなり、別れる時は涙が出るほどでした。人の気持ちというものは不思議なものです。この経験から心を深くするのは時間が決めることではないと悟りました。

◆ 韓国 高校生

私たちが日本についてよく知らずに大衆心理で悪い感情を持つ時が多かったのですが、今回の訪問を通じて日本を直接体験することで「日本」という国に対する認識が変わったと思います。日本人は実際に挨拶と礼儀がとても良いので、このような良い点を見本とし、相互理解をしなければと思いました。

◆ 韓国 高校生

参加する前はただ「大丈夫だろうか」という気持ちとともに少し軽い考えを持っていましたが、直接来てみると、いろいろな見学と体験から思っていたより多くのことを得ました。講義や平和祈念資料館で沖縄の歴史を知り、ホームステイや学校訪問で日本人との交流を通じて日本人の情を感じることができました。ただ残念なことは日本語が上手であったら、よりたくさんの対話と多くの情報交流ができたのではということです。

5. 参加者の発信内容
